

連携・協働の力・タ・チ

令和2年6月29日発行 福島県教育庁会津教育事務所



JR只見線の乗客・地域の方々に贈り物

地域を元気に！！ ～ 金山町立金山小学校 ～

金山町立金山小学校の子どもたちが、サンタクロースに扮してJR只見線の乗客や地域のお年寄りに手作りのプレゼントを配る活動を一昨年から続けています。諏江楓さん（現4年生）が「地域を元気にしたい」と自発的に取り組み始めたのをきっかけに活動の輪が広がり、多くの子供たちが活動しています。



【JR只見線 会津川口駅で活動する子供たち】R元年度 →



【列車内での活動】R元年度

【活動のきっかけと内容】 ※諏江 楓さんのお話から

金山町では、クリスマスの夜に保育所に通う子どもたちの家に役場の人や地域の人がサンタクロースになってやってきてプレゼントを配ってくれます。それをヒントにして子供がサンタクロースになって、お年寄りの家にプレゼントを配りに行ったら喜んでくれるのではないかと考えました。

一昨年は、自分たちが住んでいる地区のお年寄りに、同級生の男の子やお母さんたちと一緒にクッキーを作ってラッピングをし、クリスマスカードを添えて、5・6年生にも手伝ってもらってプレゼントを配りました。

昨年は、1・2年生と一緒にJR只見線の会津川口駅でサンタクロースの格好になり、只見線に乗るお客さんにプレゼントを配りました。プレゼントは、金山町伝統の「蜜ろうそく」（金山町役場から提供）をラッピングしました。子供サンタクロースのポスターも作り駅に貼ってもらいました。



諏江 楓さん
のお話

金山町は一人暮らしのお年寄りの家やお年寄りだけで暮らしている家が多く、色々不安を抱えて寂しく暮らしているという話を聞きました。私たち子どもが元気に金山町で成長していけるのも、自分の家族だけでなく地域の皆さんのおかげです。私たちが支えられている分、私たちが町を支えたいと思いました。そんな思いをこの活動で伝えられたと思います。私たちが頑張る姿を見て、大人やお年寄りも頑張ろうと思ってくれたらうれしいです。友達と集まり一緒に地域で活動することで、友達ともっと仲良くなって、団結力も強くなったと思います。



この実践から学ぶポイント！

会津の大きな地域課題として「過疎化」や「少子高齢化」があげられます。金山小学校の子供たちの取組は、「地域を元気にしたい」という大きな目標に向かって自発的に行った活動です。保護者や行政、学校等の関係者が子どもたちの思いを受け止め、それぞれの立場で支援し、地域を愛し貢献したいという思いを持つ子どもを地域ぐるみで育てています。



【只見線の乗客にプレゼントを配る子供】R元年度